



沖縄労働局発表
令和4年11月24日(木)

担当	沖縄労働局労働基準部監督課
	課長 安慶名秀樹
	主任労働基準監察監督官 小池 雅弘
電話：098-868-1671	

「過労死等防止対策推進シンポジウム」の開催 「ベストプラクティス企業への職場訪問」の決定

令和4年10月28日付けで発表いたしました「過重労働解消キャンペーン」の取組みの一環として、沖縄労働局（局長 西川 昌登）では、下記の取組みを行いますので、改めて発表いたします。

1 沖縄労働局長による「ベストプラクティス企業への職場訪問」を行います。

訪問企業：沖縄N Xエアカーゴサービス(株)（一般貨物自動車運送業）

所在地：豊見城市字与根 491-2

日時：令和4年11月28日（月）14:00～15:30

※取材等をお願いいたします。

（急のご案内で恐縮ですが、取材ご希望の場合は沖縄労働局労働基準部監督課（098-868-4303
又は098-868-1671）までご連絡をお願いいたします。）

2 「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催します。（無料でどなたでも参加できます。）

日時：令和4年12月5日（月）15:00～16:40

会場：沖縄県産業支援センター大ホール 101+102（那覇市字小禄 1831 番地 1）

※広報、ご参加、取材等をお願いいたします。

【添付資料】 別添1 11月は過重労働解消キャンペーン月間です。

別添2 過労死等防止対策推進シンポジウム（沖縄会場）

別添3 令和4年10月28日プレスリリース「過重労働解消キャンペーンを実施」

厚生労働省では、過重労働解消キャンペーン期間中、次の取組を実施します

01 労使の主体的な取組を促します

使用者団体や労働組合に対し、長時間労働削減に向けた取組に関する周知・啓発等について、協力要請を行います。



02 労働局長によるベストプラクティス企業への職場訪問を実施します

都道府県労働局長が管内の企業を訪問し、当該企業の長時間労働削減に向けた積極的な取組事例を収集・紹介します。

03 過重労働が行われている事業場などへの重点監督を実施します

長時間労働が疑われる事業場等に対して、重点的に監督指導を行います。

04 労働相談を実施します

11月5日(土)を特別労働相談受付日として、「過重労働解消相談ダイヤル」(無料)を全国一斉に実施し、過重労働をはじめ労働条件全般にわたり、都道府県労働局の担当官が相談に応じます。

相談無料

なくしましろう 長い残業
令和4年11月5日(土) 9時～17時 ☎ 0120-794-713

11月1日・2日・4日・5日を過重労働相談受付集中期間とし、都道府県労働局・労働基準監督署のほか、「労働条件相談ほっとライン」で相談をお受けしています。



相談窓口の詳細

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/soudan/>

05 過重労働解消のためのセミナーを開催します

事業主や人事労務担当者などを対象として、10月から12月を中心に、「過重労働解消のためのセミナー」【委託事業】を開催します(無料でどなたでも参加できます)。

参加費無料

*詳細は専用ホームページをご覧ください。

専用ホームページ

<https://kajyu-kaisyuu-zenkiren.com/>



「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催します

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現に向け、過労死等とその防止について考えるシンポジウムを、11月の過労死等防止啓発月間を中心に開催します。

参加費無料

*全国47都道府県で全48回開催(無料でどなたでも参加できます)。詳細は専用ホームページをご覧ください。

専用ホームページ

<https://www.p-unique.co.jp/karoushiboushisympo/>



11月は「しわ寄せ」防止キャンペーン月間です

大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、下請等中小事業者への「しわ寄せ」を生じさせないよう、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更などはやめましょう。

「しわ寄せ」防止特設サイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayoseboushi/>



別添1

働き過ぎていませんか？

11月「過労死等防止啓発月間」に
「過重労働解消キャンペーン」を実施します！

労働基準監督官が
相談をお受けします。

無料

令和4年11月5日(土) 9時～17時

なくしましろう

長い残業

過重労働解消
相談ダイヤル

☎ 0120-794-713

※全国どこからでも利用できます(スマートフォンからでも無料) ※匿名でもOK



過重労働解消キャンペーン 検索

労働条件相談
ほっとライン
(厚生労働省委託事業)

11月1日・2日・4日・5日は、過重労働相談受付集中期間です

都道府県労働局・労働基準監督署のほか、「労働条件相談ほっとライン」にご相談ください。

☎

0120-811-610

月～金 17:00～22:00
土日・祝日 9:00～21:00

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です

「過労死等防止対策推進法」では、11月を「過労死等防止啓発月間」としています。このため、厚生労働省では、その一環として「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施し、長時間労働の削減等の過重労働解消に向け、集中的な周知・啓発等に取り組むこととしています。



労働時間などの現状は？

知っていますか？

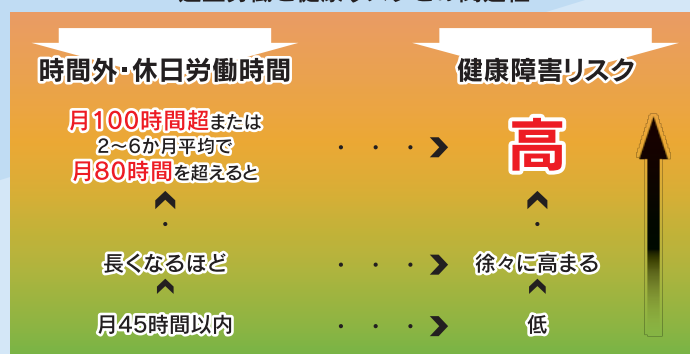
労働時間の現状をみると、週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は近年低下傾向であるものの、労働者全体の5%以上となっており、いまだ長時間労働の実態がみられます。また、脳・心臓疾患が業務上によるものと認められた労災支給決定件数についても、依然として高い水準で推移しています。近年では、仕事上の強いストレスが原因となってうつ病などの精神障害を発病し、それが労災と認められる件数も年々増加しています。

長時間労働が健康に与える影響は？

長時間にわたる過重な労働は疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因です。具体的には、時間外・休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まります。

(右の図は、労災補償に係る脳・心臓疾患の労災認定基準の考え方の基礎となった医学的検討結果を踏まえたものです。)

過重労働と健康リスクとの関連性



確かめよう労働条件

働く人や事業主、人事労務担当者の方向けに、労働基準関係法令などの知っておきたいルールや、労務管理の改善に役立つ情報などを掲載している労働条件に関する総合サイトです。時間外・休日労働、年次有給休暇、労働者の健康管理など、併せてチェックしてみてください。



確かめよう労働条件サイト

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/>

働き方・休み方改善ポータルサイト

企業の皆様に、自社の社員の働き方・休み方の見直しや改善に役立つ情報を提供するサイトです。企業・社員の方が「働き方・休み方改善指標」を活用して自己診断をしたり、企業の取組事例を検索して参考にすることができます。豊富な取組事例の中から、過重労働を防止するための方策や取組のヒントを取り入れ、自社内の取組にぜひご活用ください。



働き方・休み方改善ポータルサイト

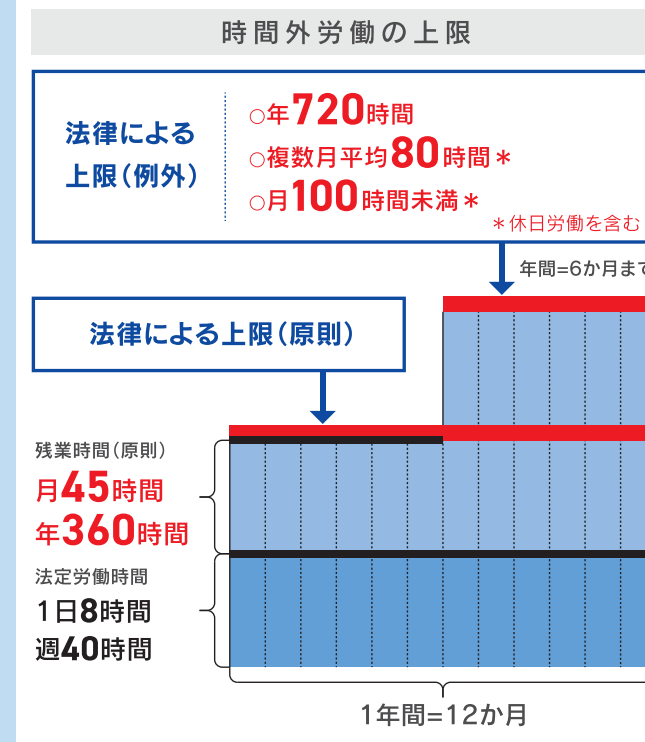
<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>



過重労働による健康障害を防止するために

01 時間外・休日労働時間を削減しましょう。

- ◆労働基準法で定められている時間外労働の上限規制(→右枠参照)は必ず守ってください。
- ◆時間外労働は本来、臨時的な場合にのみ行われるものです。時間外・休日労働を行わせる場合の労使協定(36協定)の締結に当たっては、その内容が指針(※1)に適合したものとなるようにしてください。
- ◆労働時間を適正に把握(※2)してください。



02 年次有給休暇の取得を促進しましょう。

- ◆年次有給休暇を確実に取得させるため、年5日については、時季を定めて労働者に与えなければなりません。
- ◆年次有給休暇の計画的付与制度の活用や休暇を取得しやすい職場環境の整備に取り組みましょう。

03 労働時間等の設定を改善しましょう。

- ◆労働時間等見直しガイドラインに挙げられている取組メニューに留意しながら、労働時間等の設定の改善に取り組みましょう。
- ◆勤務間インターバル制度(※3)の導入にも努めましょう。



04 労働者の健康管理に係る措置を徹底しましょう。

- ◆健康管理体制(産業医、衛生管理者・衛生推進者等の選任、衛生委員会等の設置等)を整え、健康診断を実施し、必要な事後措置を講じてください。
- ◆時間外・休日労働時間が1月当たり80時間を超えた労働者が申し出た場合は、医師による面接指導を実施しなければなりません。
- ◆指針(※4)に基づき、職場でメンタルヘルス対策にも取り組んでください。

※1「労働基準法第三十六条第一項の協定で定める労働時間の延長及び休日の労働について留意すべき事項等に関する指針」(平成30年厚生労働省告示323号)

※2「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」(厚生労働省、平成29年1月)

※3 終業時刻から次の始業時刻の間に、一定時間以上の休息時間(インターバル時間)を確保する仕組み

※4「労働者の心の健康の保持増進のための指針」(平成18年、厚生労働省、健康保持増進のための指針公示3号)

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死をゼロにし、
健康で充実して
働き続けることのできる社会へ

近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の
労働問題によって多くの方の尊い命や心身の健康が
損なわれ深刻な社会問題となっています。
本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた方
のご遺族にもご登壇をいただき、過労死等の現状や課題、
防止対策について探ります。

日時

2022年
12月5日(月)
15:00~16:40 (受付14:30~)

参加
無料
事前申込

会場

沖縄産業支援センター 大ホール101+102
(沖縄県那覇市字小禄1831番地1)

過労死等防止対策 推進シンポジウム

新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い実施いたします。今後の感染状況により、参加者数を制限するなど、規模を縮小して実施する場合があります。
参加には、事前申込みが必要です。感染症拡大の状況により、開催方法が変更になる場合がございます。最新の情報はホームページにてご確認ください。

過労死等防止対策推進シンポジウム

検索



スマートフォンで
二次元バーコードを
読み込んで下さい。

主催：厚生労働省

後援：沖縄県

協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議



沖縄労働局発表
令和4年10月28日

担当	沖縄労働局労働基準部監督課
	課長 安慶名秀樹
	主任監察官 小池 雅弘
電話：098-868-1671	

「過重労働解消キャンペーン」を実施

～11月は「過労死等防止啓発月間」です～

「過労死等防止対策推進法」では、国民の間に広く過労死等を防止することの重要性について自覚を促し、これに対する関心と理解を深めるため、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定めています。

このため、沖縄労働局（局長 西川 昌登）では、同月間において、以下のとおり、長時間労働の削減等、過重労働の解消に向けた集中的な周知・啓発等の取組を行う「過重労働解消キャンペーン」を実施します。

（主な内容）

- ・長時間労働削減を始めとする働き方の見直しについて、使用者団体や労働組合に対し、労働局長名による協力要請を行います。

- ・全国一斉無料電話相談（日時：令和4年11月5日（土））（別添1参照）

フリーダイヤルーなくしましょうー長い残業

過重労働解消相談ダイヤル **0120-794-713**（9：00～17：00）

フリーダイヤルはいい労働

労働条件相談「ほっとライン」 **0120-811-610**（9：00～21：00）

- ・沖縄労働局長による「ベストプラクティス企業への職場訪問」を行います。

※訪問企業・日時等については、改めてお知らせします。

- ・「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催します。（無料：事前予約制（別添2リーフ参照））

日時：令和4年12月5日（月）15：00～16：40

会場：沖縄産業支援センター大ホール 101+102（那覇市小禄 1831 番地 1）

- ・長時間労働の抑制、過重労働による健康障害の防止のため重点監督を実施します。

「過重労働解消キャンペーン」の概要

(1) 労使の主体的な取組を促します

キャンペーンの実施に先立って、使用者団体や労働組合に対し、長時間労働削減に向けた取組に関する周知・啓発等について、沖縄労働局長名による協力要請を行い、労使の主体的な取組を促します。また、自社の働き方改革等により、下請等中小事業者には「しわ寄せ」が生じることのないよう傘下団体・企業等への周知啓発を、併せて要請します。

(2) 全国一斉無料電話相談を実施します（別添 1 参照）

無料の「**過重労働解消相談ダイヤル**」を全国一斉に実施し、過重労働を始めとした労働条件全般に関する相談に対応します。（※沖縄県分は福岡労働局にて実施）

日時：令和 4 年 11 月 5 日（土）9：00～17：00

フリーダイヤルーなくしましょうー長い残業

フリーダイヤル 0120-794-713

(3) 沖縄労働局長によるベストプラクティス企業への職場訪問を実施します

報道機関に公開の上で、沖縄労働局長が長時間労働削減に向けた積極的な取組を行っている企業を訪問し、その取組などについて、代表者の方と意見交換を行います。

※訪問企業・日時等については、改めてお知らせします。

(4) 過労死等防止対策推進シンポジウムを開催します（別添 2）

日時：令和 4 年 12 月 5 日（月）15：00～16：40

会場：沖縄産業支援センター大ホール 101+102（那覇市小禄 1831 番地
1）

【参加申込方法】下記ホームページから申込みができます。

<https://www.p-unique.co.jp/karoushiboushisympo/>

(5) 長時間労働の抑制、過重労働による健康障害の防止のため重点監督を実施します

長時間労働の抑制、過重労働による健康障害の防止及び労働時間管理の適正化等を図るための監督指導を重点的に実施します。

(6) キャンペーンの趣旨などについて周知・啓発を実施します（別添 3、4 参照）

使用者等へのリーフレットの配布、ホームページ等の活用により、キャンペーンの趣旨などについて広く国民に周知します。

(7) 全国各地で過重労働解消のためのセミナーを開催しています

企業における自主的な過重労働防止対策を推進することを目的として、10 月から 12 月を中心に、「過重労働解消のためのセミナー」（オンライン）を実施しています。無料でどなたでも参加できます。[専用ホームページ] <https://kajyu-kaisyuu-zenkiren.com/>

【添付資料】

別添 1 「11 月は『過労死等防止啓発月間』です」（令和 4 年 10 月 3 日厚生労働省発表）

別添 2 過労死等防止対策推進シンポジウム（沖縄会場）

別添 3 STOP！過労死 毎年 11 月は「過労死等防止啓発月間」です。

別添 4 11 月「過労死等防止啓発月間」に「過重労働解消キャンペーン」を実施します。